



平成22年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社フライングガーデン
代 表 者 名 代表取締役社長 野沢八千万
(J A S D A Q ・ コード 3 3 1 7)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役財務部長 片柳 紀之
(T E L : 0 2 8 5 - 3 0 - 4 1 2 9)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成22年5月11日の決算短信で公表した平成23年3月期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の業績予想（第2四半期及び通期）を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想数値の修正

(1) 第2四半期業績予想値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第2四半期 純利益
前回発表予想 (A)	3,700	113	100	30
今回修正予想 (B)	3,730	28	22	△65
増減額 (B - A)	30	△85	△78	△95
増減率 (%)	0.8	△75.2	△78.0	—
(ご参考)				
前期実績 (平成21年9月期)	3,843	100	95	48

(2) 通期業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,300	179	150	40
今回修正予想 (B)	7,300	120	100	10
増減額 (B - A)	0	△59	△50	△30
増減率 (%)	—	△33.0	△33.3	△75.0
(ご参考)				
前期実績 (平成22年3月期)	7,374	126	114	40

2. 修正の理由

外食業界は、個人消費が冷え込む中、外食企業間の顧客獲得競争の激化など厳しい経営環境が続いております。

第2四半期の業績につきましては、売上高は計画通りに推移いたしましたが、販促活動の強化による売上値引の増加や、食材単価の高止まりなどによる原価率の上昇、人件費等販売費及び一般管理費の計画通りの削減ができなかったことなどにより、営業利益及び経常利益は計画を下回りました。また、第2四半期純利益は平成22年8月6日に開示いたしました「特別損失の発生に関するお知らせ」の通り、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に係る影響額を特別損失に計上した結果、前回予想を下回る見込みであります。

通期業績につきましては、売上高は当初計画通りの見込みであります。営業利益、経常利益及び当期純利益は、全社をあげて徹底的に原価の見直しや経費削減に取り組むことで利益確保に努めてまいります。第2四半期までの状況をふまえ、通期業績予想につきましても前回予想を下回る見込みであります。

(注) この資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上